

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公害対策事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	高橋 岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	01	公害防止対策の推進				
事業の目的	調査による実態の把握と、公害原因者に対する良好な生活環境への指導と協力。 公害のない良好な生活環境の実現。						
事業の概要	騒音・振動・悪臭等の公害調査を必要に応じ実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度	30年度	元年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,245	2,024	2,221			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	公害の基準を超えている調査項目数		0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	合併処理浄化槽設置整備事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	上下水道事務所 下水道課		担当者	青山 隆典			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	02	生活排水対策の推進				
事業の目的	公共下水道区域および農業集落排水区域を除く地域の合併浄化槽設置者への補助金交付。						
事業の概要	新築、増改築に伴う合併浄化槽の設置を行う者に対し年間を通じ補助金を交付する。 5人槽332千円 7人槽414千円 10人槽548千円						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	20,425		19,478		25,995	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	補助金交付対象の設置基数	基	56	53		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地下水・河川・農業用水水質検査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	高橋 岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	02	生活排水対策の推進				
事業の目的	地下水の飲用適正及び、河川・農業用水の水質を把握する。						
事業の概要	地下水水質検査市内5ヵ所、松島地下水（20世帯）、井戸水放射性物質9地点を年4回 農業用水10地点×2回、五行川2地点×4回、河川水質検査10地点×2回						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,482		1,488		1,740	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	（代替指標）河川の水質検査件数	ヵ所	48	48	48	48
	成果	（代替指標）地下水の水質検査件数	ヵ所	60	61	61	61
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	河戸地区水質保全協議会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	高橋 岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	02	生活排水対策の推進				
事業の目的	産業廃棄物最終処分場を確認し、河戸地区簡易水道水源地の水質及び水道利用者の健康を保全する。						
事業の概要	河戸地区簡易水道水源地上流に設けられた産業廃棄物最終処分場の監視活動を補助する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	補助金額	千円	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	畜犬登録等事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	03	犬・猫の適正飼養の推進				
事業の目的	畜犬の登録・管理、狂犬病予防注射が実施され、犬の適正な飼育がなされる						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防注射の周知及び実施、注射済票交付（飼主負担：3,500円） ・ 新規登録受理、鑑札交付（飼主負担：3,000円）、登録事項変更受付等 						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	474		439		989	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	狂犬病予防注射実施率	%	64.1	63.9	64	64.1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	犬及び猫の避妊・去勢手術費補助事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	高橋 岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	03	犬・猫の適正飼養の推進				
事業の目的	飼い主の動物愛護精神の醸成、マナーの向上						
事業の概要	飼犬及び飼猫の不必要な妊娠を制限することにより、捨て犬及び捨て猫をなくし、野犬等による事故や苦情の減少を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	800		800		800	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	手術を受けた犬及び猫の累計数		616	828	1,041	1,254
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市河川愛護会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	阿波 一世			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	04	美化運動の推進				
事業の目的	市民の環境美化意識が向上する。同時に市の公衆衛生が向上し、健康で住みよいさくら市が形成され、市民に良好な生活環境が提供される。						
事業の概要	さくら市河川愛護会が実施する、河川を美しく保全するための事業、広報・啓発活動に対して補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	106		106		106	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	河川清掃によるごみ処理量	kg	2,400	1,350	1,500	1,400
	活動	河川清掃の参加人数	人	3,500	6,222	3,500	3,600
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	指標1については、平成30年度計画2,000kgに対し、実績1,350kgと650kgの減、指標2については、平成30年度計画3,400人に対し、実績6,222人と2,822人の増になったため。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市営墓地管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	箱森霊園・きぬの里霊園の適正な管理						
事業の概要	箱森霊園・きぬの里霊園 関連事務・修繕 市所有区画の管理費を管理組合に納入する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,036		757		1,175	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	管理費納入率	%	100	100	100	100
		霊園の維持管理上の不具合・トラブル件数	件数	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市保健委員事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	阿波 一世			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	03	ルールとモラルにもとづく生活衛生環境の向上				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の環境美化意識が向上する。同時に市の公衆衛生が向上し、健康で住みよいさくら市が形成され、市民に良好な生活環境が提供される。						
事業の概要	市内一斉清掃等、保健委員の環境衛生事務活動及び保健予防活動と、それらの啓発活動の実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度	30年度	元年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,241	1,241	1,275			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	保健委員がとりまとめを行っている事業数	事業数	2	2	2	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画2事業に対し、実績として春・冬の2事業（一斉清掃）を実施したため。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			